

(専門試験 少年補導職員 No. 1)

負の罰の例として妥当なのはどれか。

1. 勉強をしなかったら授業の単位を落としたので、次の試験からは勉強するようにした。
2. 食べ過ぎでおなかが痛くなったので、次からはあまり食べ過ぎないようにした。
3. いたずらをしたらいつももらっているおやつを抜かれたため、いたずらをしなくなった。
4. 授業中にうるさくしたので叱られたが、次からも静かにしなかった。
5. 遅刻をして怒られたため、次からは遅刻をしなくなった。

正答番号 3

(専門試験 少年補導職員 No. 2)

2022年5月に成立した「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に関する次の文中のア～ウに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

これまで生活上で困難な問題を抱える女性に対する社会福祉の支援は、が中心となって実施されてきた。しかし、近年女性をめぐる課題が複雑化、多様化、複合化してきたことから、新たに「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が制定された。この法律の基本理念には、の協働が明記されている。また都道府県にはの設置が義務付けられ、が困難な問題を抱える女性の相談に応じたり、必要があれば一時保護を行ったりすることなどが規定されている。

| ア | イ | ウ |
|----------------|-------------|------------|
| 1. 売春防止法 | 各関係省庁 | 女性相談支援センター |
| 2. 売春防止法 | 各関係省庁 | 婦人相談所 |
| 3. 売春防止法 | 関係機関及び民間の団体 | 女性相談支援センター |
| 4. 男女共同参画社会基本法 | 各関係省庁 | 女性相談支援センター |
| 5. 男女共同参画社会基本法 | 関係機関及び民間の団体 | 婦人相談所 |

正答番号 3

(専門試験 少年補導職員 No. 3)

調査対象者の回答をいくつかのカテゴリーに分類して、それらに対して一定のコードを定め、個々の回答をその定めたコードで記号化する作業をコーディングといい、プリ・コーディングとアフター・コーディングに大別される。コーディングに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. プリ・コーディングは、調査対象者の自由な考えを引き出したいときに、主に自由回答などの形式の質問で用いられることが多い。
2. プリ・コーディングは、回答が極めて多様であり、どのカテゴリーにあてはまるのか、調査対象者が判断することが困難な場合に限定すべきである。
3. プリ・コーディングによって作られる選択肢は、調査対象者に混乱を与えないように、かつ、その後の分析に支障が出ることはないように、相互に排他的である必要がある。
4. アフター・コーディングは、予備調査などが行われ、調査対象者の回答がある程度予想可能な場合に適している。
5. アフター・コーディングは、調査対象者や調査員に対する負担が小さく、現地調査後の作業も少なくすむ。

正答番号 3